



安保法案の廃案を求める集会の呼びかけ人を募る石川文洋さん(中央)ら。諏訪市役所

安保法案反対 呼びかけ人になりませんか

写真家石川さんら、「集会主催者」募る

安保関連法案に反対する「戦争をさせない1000人委員会・すわ」と、「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」、報道写真家の石川文洋さん(77)が、22日午前10時から諏訪市文化センターで開く集会の呼びかけ人を募っている。

集会は「勝手に決めるな、戦争するな! 戦争法案廃案・安倍暴走政権NO! 8・22諏訪地区総行動」。呼びかけに応えた人々でつくる「呼びかけ人会」が主催。参加者らが、それぞれの主張や考えを次々にリレー形式に発表するリレートークに次いで、脱原発や自民党政権批判を歌と踊りで表現するアイドルグループ「制服向上委員会」のメンバー3人によるミニコンサートも。集会後は、会場からJR上諏訪駅前までパレードする。

石川さんと2団体は、安保法案を「国民主権、憲法、平和を破壊して若者を戦場に送ろうとするもの」と主張。安倍政権について「国民無視の暴走ぶりは、沖縄新基地、原発再稼働、TPP、貧困格差などあらゆる分野に及んでいる」と批判している。呼びかけ人への応募、問い合わせは、毛利正道弁護士(090・4096・7065、またはファクス0266・75・1513)へ。

(三浦真)

安保法案反対・22日の諏訪集会

呼び掛け人が
140人・20団体に

諏訪市在住の写真家石川文洋さん(77)らが呼び掛け、22日に市文化センターで開く完全保障関連法案の廃案を目指す集会「8・22諏訪地区総行動」に関して、岡谷市の弁護士毛利正道さん(66)らは18日、呼び掛け人が140人、20団体になったと発表した。諏訪市役所で記者会見した。



22日に開く集会の呼び掛け人について記者会見する毛利弁護士(左)ら

始めた」と述べ、さらなる若者の参加を呼び掛けた。集会は呼び掛け人が主催者

毛利さんは、世論調査などで安保関連法案への反対が過半数を占めるのに、法案を強硬に成立させようとしているとして安倍政権を批判。集会について「国民主権を守り抜く闘いだと思っている」と強調した。

集会は午前10時から。法案に反対する団体の関係者らが意見表明するリレートークで始まる。続いて法案を批判しているアイドルグループ「制服向上委員会」のメンバー3人によるミニライブで盛り上げ、法案の廃案などを求める決議をする。

集会後のパレードには、制服向上委員会メンバーや若者らが参加する。会見に同席した「戦争をさせない1000人委員会・すわ」共同代表の佐久祐司さん(46)は「富士見町には若い人たちが声を上げ

となる仕組みで、20日まで募る。申し込みは準備会(ファクス75・1513)へ。

朝日

「安保法案反対」140人超賛同
22日 諏訪の集会、呼びかけ人に

安倍内閣が制定を目指す国会で審議中の安保関連法の廃案を求めて22日に諏訪市で開く集会の主催者となる呼びかけ人の募集に、140人を超える市民が応募した。

集会は「勝手に決めるな、戦争するな!」戦争法案廃案・安倍暴走政権NO!8・22諏訪地区総行動」。諏訪市の報道写真家、石川文洋さん(77)と、

「戦争をさせない1000人委員会・すわ」

「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」

の1個人、2団体が、呼びかけ人を募ったところ、17

日現在で、20団体、140

人超が趣旨に賛同して呼びかけ人に加わったという。

ぐるみの会世話人の毛利正道弁護士(66)は「今回だけは、黙ってられない」と有名無名、与野党の支持を問わず、たくさんの方が

呼びかけに応えてくれている」という。

総行動は22日午前10時から、諏訪市文化センターで。リレートークに続き、アイドルグループ「制服向上委員会」のメンバー3人のライブがあり、正午前からJR上諏訪駅までパレードする。

毛利さんは「名前を出せない人からたくさん賛同の声をいただいている。国民主権を守り抜こうとするたくさんの方の勇気を大事にしたい」という。

(三浦亘)

「勝手に決めるな」安保法案

参加も「制服向上委員会」の反対集会

安保関連法案を批判するアイドルグループ「制服向上委員会」も参加したパレード。22日、諏訪市



曲を披露。参加した約520人は集会の後、「戦争法案、絶対反対」などと声を上げてJR上諏訪駅前までパレードした。

市民団体の代表や医師、弁護士、会社役員、保育士らが意見表明。「抑止力は互いを読み取るあいまいな読心術。先制攻撃の誘惑に駆られる」「平和的に(問題を)解決するのなら、なぜ国外に出掛けて米国の兵たんを担当する必要があるのか」などと述べた。絵本や合唱で反戦を訴える団体もあった。

制服向上委員会の13〜18歳の4人は「左翼でも右翼でもなく『清く』です」と自己紹介。政権や自民党を批判する替え歌などを歌い、踊った。安倍首相に退陣を求める決議もし、参加者は一斉に「勝手に決めるな戦争するな!」と記した紙を掲げて氣勢を上げた。

諏訪市在住の写真家石川文洋さんや「戦争をさせない1000人委員会・すわ」「諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会」などは22日、安全保障閣

連法案の廃案を目指す集会を同市文化センターで開いた。15の個人、団体が意見表明し、法案を批判するアイドルグループ「制服向上委員会」が3

安全保障関連法案成立阻止

「戦争するな！」と氣勢

諏訪地区総行動

「勝手に決めるな、戦争するな！—戦争法案廃案・安倍暴走政権NO! 8・22諏訪地区総行動」が22日、諏訪市文化センターで開かれた。約550人(主催者発表)が参加し、集会でのリレートークや行進で、安全保障関連法案成立阻止を声高らかに叫んだ。

報道写真家の石川文洋さん(諏訪市)と戦争をさせない1000人委員会・すわ、海外での戦争に道を聞く閣議決定白紙撤回—諏訪

湖・八ヶ岳地域ぐるみの会が企画。趣旨に賛同するすべての個人、団体が構成する「呼びかけ人会」で主催する方式を採り、当日には個人140人、団体20人が呼び掛け人になった。

集会で石川さんは「今、一番戦争の危機を感じている」とあいさつ。続くリレートークには、団体の代表や個人15人が次々に登壇し、「来年の参院選に勝つことが残された道」「同じ過ちを繰り返すな」「安倍政権のやっていることは力の

行使」などと訴えた。制服向上委員会を交えた行進は湖畔、上諏訪駅を回り、「戦争をさせないぞ」「若者を戦場に送るな」などと声を上げ、沿道の市民に訴えた。



制服向上委員会のメンバーも加わり、行進する一行

内閣退陣や 廃案を訴え

安保法案反対諏訪地区集会

安全保障関連法案に反対する諏訪地区集会が22日、諏訪市文化センターで開かれた。諏訪地方などから約500人が参加し、「武力では決して平和は築けない。(法案は)時代に逆行する悪法」と批判。安倍内閣の退陣や同法

案の廃案を訴え、氣勢を上げた。

諏訪地方の181個人・25団体でつくる「呼びかけ人会」が主催。主催者を代表し、報道写真家の石川文洋さん(77)「諏訪市」があいさつ。「関連法案が通れば、自衛隊に確実に犠牲者が出るだろう。若者が戦場に行くのを避けなければ。声を上げ、安倍政権の暴走を止めなければいけない」と言葉に力を込めた。

壇上では、若者から高齢者まで15組が代わる代わるマイクを握った。「抑止力に頼ろうとすることで、侵略戦争に手を染める危険性が大きくなる」「米国による数々の戦争に巻き込まれずに済んだのは、憲法9条があったからこそ」などと、平和への思いを語った。護憲などをテーマに活動する社会派アイドルグループ「制服向上委員会」のメンバー4人も特別出演。歌や踊り

を披露し、「武力ではなく外交で解決してほしい。憲法9条を日本から世界へ発信したい」と強調した。

集会では、「国民主権を守りぬき、安倍内閣の退陣と戦争法案廃案を求める決議」を採択。プラカードなどを掲げた参加者はシュプレヒコールをあげ、市街地をパレード。若者たちのグループも太鼓の音に合わせて、リズムカルに「強行採決絶対反対」「止めるぞ止めるぞ戦争法案」などと訴えた。(寺田英祥)

500人超「廃案を」

諏訪で安保法案集会

安倍政権が成立を目指し、国会で審議中の安全保障関連法案の廃案を求めて22日、諏訪市文化センターで勝手に決めるな戦争するな!戦争法案廃案・安倍暴走政権NO!8・22諏訪地区総行動が開かれた。

主催者となる呼びかけ人を募った報道写真家の石川文洋さん(77)と「戦争させない1000人委員会・すなわ」、「諏訪湖八ヶ岳地域ぐるみの会」の訴えに、181人、25団体が応え主催者に名を連ね、集会には、520人が参加した。

石川さんは「法案が通れば、自衛隊から確実に死者が出る。日本の若者に、殺したり、殺されたりしないよう、私たちの責任で防がねばならない」と訴えた。

リレートークには、15人が登壇。「憲法9条は青年の未来を守るもの。残された時間を平和を守るために使いたい」「戦争は最大の



石川文洋さんを先頭に市内をパレードする集会参加者ら。諏訪市湖岸通りの4丁目

自然破壊だ」など、口々に法案の廃案を訴えた。

制服向上委員会メンバーによるミニライブもあり、自民党政権や安倍総理を批判する替え歌と踊りを披露して喝采を浴びた。(三浦昌)



集会後、制服向上委員会のメンバーを先頭にパレード＝22日、長野県諏訪市

25団体と180人以上がよびかけ行動

方言や替え歌も

長野・諏訪市

長野県諏訪市で22日、「勝手に決めるな戦争するな！戦争法案廃案・安倍暴走政権NO！」諏訪地区総行動が開かれ、6市町村から550人が参加しました。500人超の集会は初めてです。

諏訪湖八ヶ岳地域ぐるみの会、戦争させない1000人委員会・すわなど25団体と180人を超える個人が呼びかけました。

開会あいさつに続き、15人がリレースピーチ。原村の方言で憲法9条を語る人、替え歌で訴えるグループ、保育園や医療現場で働く若い女性も訴えまし

た。制服向上委員会のメンバーは歌と歌の間に、それぞれの思いを込めたメッセージを語り、会場から大きな拍手。参加者は「若い人でもしっかり自分の考えを持っていることに励まされた」と語りました。

結成されたばかりの八ヶ岳ピースパレードのメンバーは、この日がパレードデビュー。太鼓を鳴らしリズムカルパレードの先頭でコールしました。幼児を連れた親子連れの参加が目立ち、初参加というママも。

沿道では年配の女性が参加者から「アベ政治をゆるさない」のボードカードを受け取り、「私も気持ちは一緒だから」と、笑顔でパレードを見送りました。

東海・北陸信越のページ

